

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部農政企画局 課長（農業経営担当）	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	課長 世古 静 夫 （皆木 治 男）	内線	3929 （3944）
------	--------------------------	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	経営構造対策 事業	事業名	事業区 間	総事業費	約 3 億円
		経営構造対策事業	広田南部地区	内用地補償費	- 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年度	完成予定 年度
三原郡緑町広田			H 1 6	H 1 6	H 1 7

事業目的	事業内容
<p>地域農業者の参画と協働による地域営農活動の推進のため、農業生産に係る条件整備を総合的に行い、生産性の高い農業の展開を図る。</p> <p>本地区はレタス、タマネギの生産及び畜産を主に、水稻収穫後に野菜栽培を行うなど農地の高度利用を目指しており、営農労力節減、生産コストの低減等のため、畦畔整備、堆肥製造施設、鳥獣害防止柵などの条件整備を行い、生産性の向上と担い手となる経営体の育成・確保を図る。</p> <p>事業主体：緑町 第二鳩尾堆肥生産組合</p>	<p>畦畔整備（畦畔コンクリート） L=24,000m (国 50%、県 12%、地元 38%) 事業主体：緑町</p> <p>高品質堆肥製造施設（堆肥舎） 1棟 130㎡ (国 50%、県 6%、地元 44%) 事業主体：第二鳩尾堆肥生産組合</p> <p>特認事業（鳥獣害防護柵） L=6,000m (国 50%、県 6%、地元 44%) 事業主体：緑町</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>県下有数の農業地帯である広田南部地区は水稻栽培後にレタス、タマネギ、キャベツ、はくさいなど露地野菜の栽培を行う多品目複合産地である。近年、消費者の農産物に対する安全・安心指向を反映させるため、農薬等の使用回数の低減等を図ると共に適期出荷に努めている。</p> <p>しかし、生産者の労働力は土地の高度利用や高齢化等から限界に達していることから、病虫害発生抑制と除草等畦畔管理の労力軽減を図るための畦畔のコンクリート化を行う必要がある。</p> <p>また、淡路島牛乳ブランドの産地であることから家畜ふん尿の資源リサイクルによる環境に優しい農業の積極的な展開を行う必要がある。</p> <p>このことから、関係農家(146人)の意欲は高く、地域内の農畜産物の生産拡大・付加価値化・省力化の向上により、経営体の体質強化が図られ魅力ある産地形成が期待できる。</p>
(2)有効性・効率性	<p>・事業実施により次の効果が期待できる。</p> <p>農産物作付け等増：5.5 ha の増 ・ 15 百万円/年の所得増 草刈り・畦塗り等管理労力の軽減：4.5 百万円/年 鳥獣害防護柵の整備による被害軽減：2.1 百万円/年 認定農業者の育成：現況 21 人 目標 23 人</p> <p>・費用便益比： B / C = 1 . 1 5</p>
(3)環境適合性	<p>・畦畔整備による減農薬や有機質肥料散布による安全で新鮮な農産物生産を目指していることから、周辺環境への負担が軽減できる。</p>
(4)優先性	<p>本地区は、早くからほ場整備を終え、生産性の高い農業経営が行われている。労働力の省力化のための畦畔整備、有機質肥料供給のための堆肥製造施設、野生獣による農作物への被害軽減対策を一体的に整備することは、町内及び島内生産者等にも P R 効果が大きく、担い手（認定農業者）を育成するうえでも有効であり、用地は確保済で地元協力体制も整っている。</p>